

きんぎょ



蓮田・白岡地方ユネスコ協会

2019年度 関東ブロック・ユネスコ 活動研究会開催報告

会長 田村 勝彦



Peace for Tomorrow
「ひろげよう平和の心・
平和な社会を目指し、共
に学び・共に語ろう」こ

運営方法や交流会などに
工夫がされていたとの評
価も戴きました。パネル
ディスカッション「地球
規模における環境変化・

の大会テーマのもと、2019年関東
ブロック・ユネスコ
活動研究会 in 埼玉
(蓮田・白岡)は1都
5県の皆様を迎え、
プログラム通り盛況
のうちに終える事が
できました。当日は
久しぶりの青空のも
と、参加者数は40
0名を越え、事後の
アンケート分析から
も概ね大会目的の達
成が出来たと思いま
す。企画・構成は斬
新で、特に分科会の

南極からの警鐘」も時宜
に叶った演目と共感して
戴きました。更に日頃は
接点の少ない一般市民の
方々に直接 ユネスコ活
動に触れる機会を提供す
ることが出来ました。蓮
田市茶道連盟や国際文化
交流会・ボランティアの
皆様にも「おもてなし」
の第一線でご活躍戴きま
した。拝受致しましたご
意見、ご評価は開催準備
に連日奔走した実行委員
会の献身的な努力に対し
て、何よりの労いの言葉
になると思います。実は
全国大会(東京)直後の開
催で、関ブロ研究会には
如何ほどの会員様が集ま
って下さるかが心配でし
た。運営・企画・体制
(準備委員会)などの不
安も多少ありました。し
かし、斯様な心配を払拭
してくれたのが熊倉晃事
務局長以下実行委員会皆
様の奮闘でした。研究会
の過去の実績・課題を分
析し、綿密な計画のもと、
見事に実行して、大会を
盛況に導いてくれまし
た。当日は県知事のメッ
セージほか埼玉県教育長
小松弥生様・蓮田市長中

右から熊倉事務局長、田村会長、
宋戸秀行氏 日本経済新聞社・顧問

11枚の書きそんじハガキで
ひとりごと月学校に。



野和信様、白岡市副市長
野口仁史様、連盟会長佐
藤美樹様からご挨拶も戴
きました。蓮田市教育長
西山通夫様、白岡市教育
委員会生涯学習部長篠塚
淳様もご来賓でお迎え致
しました。また大会直前
まで入院していた私は皆
様のお励ましで主催者挨
拶をさせて頂きました。
あらためて開催準備から
当日まで関わった全ての
皆様に衷心より敬意と感
謝を申し上げます。あり
がとうございました。
(尚、各活動詳細は72頁
の報告書として纏めまし
たのでご参照下さい)

全ての支援団体・ボランティアの皆様へ感謝

関東ブロック活動研究会 in 埼玉を支えて頂いた



とてもよかったこと、
それは「パネルディス
カッション」「お茶の
サービス」「着物での
もてなし・・・」と。
「アンケート」に記載
された言葉です。駅か
ら会場まで「案内が要
所所にあり安心でき
た」等が続き、ボラン
ティア皆様のご活躍を
如実に物語ります。蓮
田中学校吹奏楽部の皆
様には「演奏が素晴ら
しかった。癒されまし
た」と感想を戴きまし
た。蓮田中央小学校生
徒の皆様にも青少年ワ
ークショップでご活躍
戴きました。会場では
脇田宗永会長をはじめ
蓮田市茶道連盟様、島
村会長、爪川事務局長
参加の蓮田市国際文化
交流会様に全力でお支
え戴きました。また、
国際学院高校の皆様は、
急な要請にも関わら
ず青少年プロジェクト
に参加戴きました。
有難うございました。
交流会での演目にご参
加戴いた石崎光様と
梅津栄輔様、終日記録
にご尽力戴いた鈴木昌
国様と山本二三男様、
裏方を厭わず駅前各所
で案内と誘導にご協力
戴いた市民有志の皆様
等、多くの皆様に厚く
御礼申し上げます。皆
様のご支援とご協力的
には目的は達成でき
ませんでした。ありが
とうございました。

関東ブロック・ユネスコ活動研究会in埼玉(蓮田・白岡)特集

2019年10月5日～10月6日 会場：蓮田市総合文化会館 (ハストピア)



今年の関東ブロック・ユネスコ活動研究会が開催された蓮田市には、ユネスコスクールが小学校と中学校それぞれ一校ずつあります。また、県内にはユネスコキャンプをはじめとする様々なユネスコ活動に参加したことのある青少年がたくさんいること、青年会員が増加傾向にあることから、この研究会の場を活用することで、埼玉県内の青少年



今年ユネスコ活動の一層の充実・発展を図ることができればと考え、本ワークショップの場を設定を致しました。関東ブロック内の青年活動の更なる発展のため、青年主体(企画・運営)のプログラムとして設定していただきました。プログラムのはじめに、ユネスコについて

て簡単に説明した後、今年30周年を迎えた世界寺子屋運動について動画を介して紹介しました。その後、小グループにて動画をみた感想や思ったこと等について伝え合い、考えを深めました。関ブロ青年部担当から「今回趣旨に賛同し協力戴いた蓮田・白岡地方ユネスコ協会の皆様には感謝致します」とのコメントがありました。



彦氏のご挨拶。県知事メッセイジが披露され小松弥生埼玉県教育長・中野和信蓮田市長・野口仁史白岡副市長の来賓挨拶を戴きました。関東ブロック・ユネスコ



今回の研究会では「地球規模における環境変化―南極からの警鐘」と題するパネルディスカッション。パネラーとして、極地研究所名誉教授福地光男氏、同研究所副所長・教授 伊村 智氏及び白岡市南極局グラハム・ホー

を向うことが出来、地球温暖化の変化について理解を深めることが出来た」、「南極も温暖化がかなり進み、海の生物、陸の植物がかなり影響を受けていることがわかった。この問題の解決に向けて自ら何が出来るのか考えさせられた」などがあり



高い関心を得られた、素晴らしいパネルディスカッションとなりました。3人のパネラー及び極地研究所のご支援・協力に感謝申し上げます。

して、今回は埼玉県の分科会の運営は「分科会運営指針」に基づき各ユネスコ協会が責任をもつて行いました。②分科会に関して前年12月の代表者会議において分科会のテーマを決定し、2019年2月までに発表テーマ、8月までにレジュームの提出をお願いしましたが、発表内容に関して、「ユネスコ協会活動との整合性」が問われるものが見られました。また、今回も1テーマに2件の発表を設定しましたが、より深化し、充実したものにするために今後は「1テーマ、1件の発表も検討」をして然るべしと考えます。



交流会は東武バンケットホールで開催(6時～150名参加)寛ぎのひととき」としてG・ホーヰ博士(南極のバグパイプチャンプ)にはアメリカングレースを、石崎光夫様には新相馬節など演じて戴き、「蛍の光」合唱で閉会となりました。

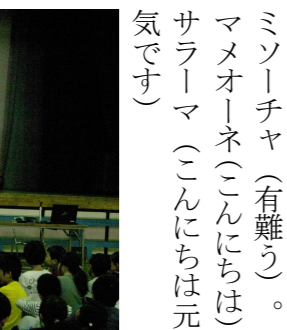
ユネスコスクール支援事業

①蓮田市立蓮田中学校 「当たり前」再考から始まる国際協力

10月10日(木)蓮田市立蓮田中学校体育館でユネスコスクール事業を開催。講師は元JICA青年海外協力隊員で日本語教師の内山聖末(うちやまきよみ)さん。全校生徒約300名に自身の体験談とそこから得た考え等わかりやすく講演。特にトンガ、スーダン、マレーシアでの経験を話され終了後は質疑応答に丁寧に対応。ごく普通と思



な理解をして自分たちの今までの考えを再考する必要ありと結びました。



「世界の抱えている問題を知り、解決に向けてできる事を考えよう・JICAの仕事をして見て今

「追記」世界寺子屋運動を支援するために、当協会も毎年「書き損じはがきの回収」に協力していただきますが、今後とも会員皆様の協力をお願いいたします。

②蓮田市立中央小学校

「変だ」「違うね」「面白い」の話で終了。このことを知って自分達の生活がどうあるのか、国際的にはどうあるのかを知識としてもって欲しいと結びました。最後にマダガスカル語の幾つかを紹介しました。ミソーチャ(有難う)。マメオーネ(こんにちは)サラーマ(こんにちは元気です)

思うこと」をテーマに、11月16日(土)蓮田市立蓮田中央小学校体育館でユネスコスクール事業を開催。講師は元青年海外協力隊員の新野美奈(にののみな)さん。4・5・6年生(約300名)を対象に講演。マダガスカル国立アンタナリビア大学に新設された日本語授業の教師として赴任。カリキュラム、事業運営、教師指導を経験。内容はマダガスカル国の説明から入り(面積は日本の約1.6倍。人口は1600万人)子供達は農業の手伝いで殆ど学校に通えないこと、一日一ドルの生活、異文化を理解する三つのキーワード、即ち



「変だ」「違うね」「面白い」の話で終了。このことを知って自分達の生活がどうあるのか、国際的にはどうあるのかを知識としてもって欲しいと結びました。最後にマダガスカル語の幾つかを紹介しました。ミソーチャ(有難う)。マメオーネ(こんにちは)サラーマ(こんにちは元気です)

今回の大会はユネスコ世界寺子屋運動30周年を記念して行われ、1日目は「寺子屋での学びがもたらしたもの―成果と展望をめぐって」と題して、寺子屋運動の成果と討論等が行われました。2日目は、「学びを通して共生社会を創る」と題して行政側、NPOのそれぞれの取組が紹介されまし

第75回日本ユネスコ運動全国大会開催

9月7日・8日豊島区立目白小学校

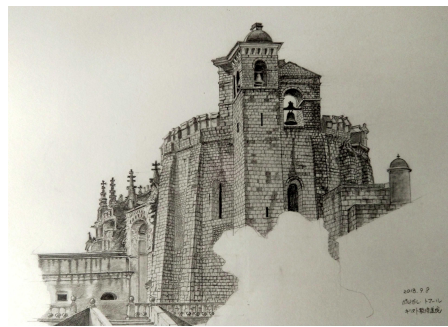
全国から約450名のユネスコ関係者並びに海外から中国、韓国のユネスコ関係者が参加しました(当協会からは、江口・熊倉副会長、山内理事の3名が参加)。

世界寺子屋運動30周年を記念して行われ、1日目は「寺子屋での学びがもたらしたもの―成果と展望をめぐって」と題して、寺子屋運動の成果と討論等が行われました。2日目は、「学びを通して共生社会を創る」と題して行政側、NPOのそれぞれの取組が紹介されまし

た。最後に「2019年版 寅さんの学校論」と題して山田洋次監督による基調講演がおこなわれました。当協会の田村会長が全国大会10回出席者表彰を日本ユネスコ協会連盟会長から賞状と記念品を授与されました。なお、2020年は7月4日・5日山口県宇部市で開催予定です。

世界遺産 Friday

素描 (ポルトガルノトマール)



トマールの街の中心部から西に山道を登っていくと、この街最大の見どころであるキリスト教修道院にたどり着く。この修道院は十字軍華やかな時代にエルサレムに創設されたテンプル騎士団により12世紀に建設され、テンプル騎士団が禁止された後1357年にその流れをくむキリスト教騎士団の本拠地となり、ポルトガル王室からエンリケ航海王子をはじめとする代々の団長を迎えた。テンプル騎士団から引き継いだ財産はエンリケ航海王

子によるポルトガルが海洋国家になるための資金となったといわれる。修道院は12世紀から16世紀の間に増改築されたために、ロマネスク、ゴシック、ムハデル、ロマネスク、ルネサンスといった様々建築様式が融合した建築物でポルトガル建築の変遷がたどれる。修道院の円堂は12世紀に建設されエルサレムのオマール・モスクや聖墳墓教会をモデルとしたロマネスク建築である。聖堂の西壁にあるマヌエル様式の窓は窓の周りを航海に関わるロープや錨、サンゴなどの細密な彫刻が施され風雨にさらされてきたにもかかわらず、当時のポルトガルの勢いを感じさせる。(2017年訪問) 世界遺産登録1983年鉛筆素描/円堂 (使用鉛筆は2H/8B) H・H

埼玉県ユネスコ連絡協議会 理事会開催

8月29日(木) 13:00 蓮田市総合文化会館(多目的ルーム)にて出席者は19名(敬称略) 寄居(河田)、さいたま(本多)、越谷(中野、小宮山)、深谷(清水、関口)、草加(瀬戸、堀野)、秩父(石井、江田) 蓮田・白岡(田村、江口、熊倉) 上記以外の実行委員・蓮田・白岡(福地、平賀、原田、柴山、山内) 日本ユネスコ協会連盟関ブロ担当(井上) 田村会長より「2019年度の関東ブロの開催まで37日となり、県内7ユ協の一層の協力を得て実施していきたいので、宜しく」と挨拶があり、続いて関ブロの実施に関する協議を行いました。11月29日(金) 13:30 蓮田市立図書館にて関ブロの実施報告と今後の課題につき協議出席者11名(敬称略) 寄居(石澤、河田)、さいたま(本多)、越谷(中野)、深谷(関口)、草加(堀野)、秩父(欠) 蓮田・白岡(田村、江口、熊倉)

オブザーバー・蓮田・白岡(平賀、山内) 会長より10月の2019年度関ブロ実施に際して県内ユ協の協力に関して謝意を表明した。(詳細略)

新理事の挨拶 齋藤隆宗さん (さいとうたかむね)



ユネスコがこれほど国際的な活動をしている組織であることを知ったのは恥ずかしいながら成人をしてからでした。この蓮田・白岡の町に、世界に繋がる平和活動に尽力するユネスコの会員スタッフがこれほど多く存在することを知ったのも初めてです。田村会長をはじめ、蓮田・白岡のユネスコの多くのスタッフが、そのテーマである「平和」への構築活動に尽力されている活動にこの度役員として加えさせて頂いたことに感謝申し上げます。宜しくお願ひします。

告知 地域文化遺産 スタディ

第16回地域文化遺産スタディ日時・令和2年2月29日(土) 14:00~16:00 場所・白岡市「はびすしらおか」題名・「鉢形城と戦国武将」長尾景春の乱から小田原合戦まで講師・寄居町 鉢形城歴史館 館長 石塚三夫 先生後援内容・鉢形城主であった長尾景春・上杉顕定・北条氏邦の3人を通して、関東戦国史を概観します。会員、学生無料 一般300円問合わせ・事務局 飯島携帯 090・3152・2909

世界遺産旅行記を募集

あなたのオリジナル世界遺産旅行記を会報「きずな」に発表してみませんか。文字数4~8百文字写真も添えてメールで tamuzo@d6.dion.ne.jp まで、会報に関するご意見もお待ちしています。



彩々楽にて忘年会

12月14日(土)、理事会終了後、参加12名で開催。冒頭・田村会長の関ブロでのご協力・参加謝辞に続き中野市長・西山教育長にご挨拶などを賜り、福地顧問の乾杯ご発声で幕を開け、関ブロの思い出などに話が弾み、和やかな雰囲気でも今年も終わることができました。

編集後記

新年号「令和元年」終わろうとしています。即位礼正殿の儀、大嘗宮の儀など絵巻物のような世界を見ることができた反面、大災害の多い歳でした。来年こそ災害のない平穏な歳でありますよう祈念申し上げます。(理事一同)